



質問
項目

- ①生活困窮者支援 ②労働施策 ③犯罪被害者支援
- ④自然環境・生活環境 ⑤市民活動・NPO支援

経済環境の悪化や生活に困難を抱える世帯の増加など新型コロナにより社会の環境が変化していることに対応するために市が取るべき施策について提案を行うことを中心として質問を行いました。一定の成果はありましたが、特に問題としていた自殺対策や NPO 支援などでは真正面から答弁を得ることができませんでした。

子ども食堂などの情報提供

アウトリーチで必要な家庭に情報提供を

質問

子ども食堂・フードパントリーなど生活困窮世帯支援につながる情報について、**アウトリーチ型での情報提供を行うべき**であると考えが見解は。

答弁

子ども支援課および生活支援課の窓口などで把握した必要な世帯に適宜紹介している。今後は、**アウトリーチでの支援を行っている関係課と連携して情報提供**していく。

上尾市ふるさとハローワーク

閉庁時に求職活動ができるようにすべき

質問

今回新型コロナの影響によりふるさとハローワークが休所となった。**緊急事態の際に求職者が困難に直面しないよう対策を講じるべき**であると考えが見解は。

答弁

求人情報の提供などを市が行うことは困難であることから、休止などの緊急の際には、感染症の状況を踏まえて**ハローワークと協議し、検討**していきたい。

その他の質問は、**上尾市議会スマート中継**をご覧ください。
<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/>

全員協議会

西上尾第二保育所がしらこぼと保育所に続き耐震不足で休所へ

9月1日に全員協議会が行われ、市が行った耐震診断の結果、西上尾第二保育所が耐震基準を満たしていないことが判明し、来年3月に休所することが決まったとの報告がありました。市は複合施設への移転計画があることから西上尾第一・第二保育所、つくし学園の**耐震診断を行っていませんでしたが、しらこぼと保育所の休所を受けて多くの議員が、耐震診断が必要であるという意見を伝えたこともあり診断が行われました。**公共施設の計画が子どもたちの安全に優先するような今の状況を変えるために引き続き丁寧な対応を求めています。



えびはら直矢プロフィール

昭和 62 年 12 月 3 日生まれ。

●上智大学法学部卒

●首都大学東京社会人類学教室修了。

国連 UNHCR 協会職員などを経て、衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、現在子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わっている。2017年に上尾市議会議員に当選（現在2期目）。議会運営委員会副委員長。

家族：妻、長男（5才）、長女（4才）、次男（2才）

市政へのご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください →FAX 048-677-1676

お名前

ご連絡先

ご意見（勉強会にご参加いただける方は「市民勉強会」とご記入ください）

えびはら直矢市政報告



2020年9号
2020.10.6

発行人 海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323

E-mail. ebihara116@gmail.com https://www.ebihara-naoya.com/

会派要望が補正予算で実現へ

10月5日、事業者支援の商品券事業や予防接種の補助などを盛り込んだ補正予算が成立しました。

実現! 『政策フォーラム・市民の声あげお』として要望した内容の一部が補正予算に反映されました。

**特別定額給付金の対象外の
新生児に対し10万円給付**

1億6098万円



国の特別定額給付金の対象とならない新生児に対して10万円を給付します。

支給対象となる
出生期間 **令和2年4月28日
～令和3年4月1日**

**プレミアム付商品券
キャッシュレス決済還元**

4億2923万円

市内消費の活性化を図るため、**商工会議所が実施する事業に補助**をします。

プレミアム付商品券(プレミアム率30%)

利用期間 R2.12/15～R3.3/15

販売方法 応募はがきを含む案内チラシを10月中旬に全戸配布予定

内容 1冊10,000円(額面13,000円)

キャッシュレス還元(ポイント還元20%)

利用期間 R2.12/1～12/31

還元上限 1回当たり2,000円

期間中10,000円まで

利用可能サービス PayPay

※予算額はすべて1万円未満切り捨て

インフルエンザ予防接種の補助

2億8374万円



1歳児から中学校3年生までの子ども、65歳以上の高齢者を対象に助成を行います。

1～15歳 自己負担1,500円

65歳以上 自己負担なし (10月～12月接種分のみ)

市長など三役と議員それぞれの倫理条例が成立

議員政治倫理条例の主な内容



9月定例会最終日の10月5日、議員の政治倫理について定める『上尾市議会議員政治倫理条例』が委員会提出として提案され、全会一致で成立しました。さらに、市長から提案された市長・副市長・教育長の政治倫理などについて定めた『市長等政治倫理条例』も成立。

職員倫理条例と併せ「議会」「市長など」「職員」のそれぞれが守るべき倫理基準やその基準に違反した場合の手続きなどが決まりました。

上尾市を悪い意味で有名にしてしまった問題を二度と起こさないため、一定の仕組みは整ったこととなります。これらの条例が言葉のみでなくきちんと機能するよう、条例の作成に携わった人間としてしっかりとチェックをしていきたいと思えます。

1 契約に対する遵守事項

配偶者・一等親内の血族・同居の親族が経営する企業、議員が実質的に経営に関与する企業は市との契約を辞退するよう努める。

2 市民による調査請求

議員に倫理基準違反・契約に対する遵守違反の疑いがあるとき、市民の500分の1以上の連署で調査請求を行うことができる。

3 政治倫理審査会

調査請求のあった事案は弁護士など外部の有識者5名で構成された審査会で審査を行う。

市民勉強会+意見交換会 超高齢社会の自助と共助

介護福祉士で埼玉県央ケア協会共同代表の加藤英明さんを講師にお招きして勉強会を行います。ぜひご参加ください。

10/24(土)

午後2時から

文化センター
204集会室

お申込みはメールもしくは裏面のFAXにて

▶ebihara116@gmail.com

※お名前、ご連絡先をお知らせください。